

## リトルミンストレル説明（補足）

---

まずは、最初から付いている説明書(英語)をご覧ください。  
(日本語訳を付けておきました。)

### CとかDの意味について

これを知らずに西洋音楽はできません。

これを機会に覚えるとよいです。一生ものの知識です。A B C D E F G とピアノの鍵盤との位置関係を図にしました。7つだけ覚えればよいです、九九よりずっとかんたんです。Bbのようにbや#が付くのは、ピアノの黒鍵のことです。



ちなみに日本語では ABCDEFG にそれぞれ イロハニホヘト を割り当てています。「ベートーヴェンの交響曲第9番ニ短調」というのは、「ベートーヴェンが9番目に作曲した交響曲で、ニの音からラシドレミファソラの音で演奏する」という意味です。「ピアノソナタへ長調」なら「への音からドレミファソラシドの音で演奏するピアノソナタ」という意味です。

## リトルミンストレルの標準チューニング

リトルミンストレルは標準では次のようにチューニングされています。



※ ドはGの音(日本名ではトの音)からです。だからト長調？

五音階(ドレミソラ)という音階で、これは日本・中国・アフリカ・南北アメリカなど多くの国の民族音楽で使われています。適当に弾いてもなんとなく曲になって聞こえるという便利な音階です。リトルミンストレルは元々、何かの曲を弾くような楽器でなく、フィーリングでポロンポロン弾いて遊ぶための楽器です。

## リトルミンストレルの西洋音階チューニング

五音階にはファとシの音がありませんから、ファとシの音を使う曲を弾くことができません。リトルミンストレルで西洋のふつうの曲を弾くときには、西洋音階ドレミファソラシドにチューニングします。次のようにチューニングします。



- ➡ 基本的に白鍵ばかりで、Bb だけ黒鍵を使います。
- ➡ Fの音から ドレミファソラシド です。(だからへ長調です。)
- ➡ ソプラノリコーダーと相性のよいドレミです。

## 伴奏のヒント

- ➡ 隣どうしの2本の弦はハモりません。
- ➡ 一つとばし隣の弦、二つとばし隣の弦は必ずハモります。
- ➡ いちばん低い ラシド のうちのどれかが必ずハモります。

まずメロディーを覚えて、上の3つのルールに従っていろいろハモってみて、気持ちよくハモるパターンを見つけていけばいいでしょう。

## 電子チューナーを使ったチューニング

買ったばかりのリトルミンストレルはよくチューニングがずれます。弦はまだ新しいので、強く張っても伸びてゆるんでくるからです。また、リトルミンストレルは室温によってもチューニングにずれが生じます。

- ➡ 寒い部屋では…チューニングが高い音にずれます
- ➡ 暖かい部屋では…チューニングが低い音にずれます

リトルミンストレルを弾いていて、気になるほどチューニングがずれたときは電子チューナーを使ってチューニングし直します。かんたんな作業です。

- i. 電子チューナーにコンタクトマイクを差し込む
- ii. リトルミンストレルのどこでもいいからマイクを挟む
- iii. 電子チューナーの電源を入れる
- iv. リトルミンストレルを鳴らす  
→「これはGの音、ちょい高め」など自動車のスピードメーターのように表示される
- v. 電子チューナーのメーターがほぼ中央を指すように、リトルミンストレルをチューニングする

電子チューナーの使い方は、電子チューナーについている説明書をご覧ください。ギターやマンドリン、ハープ、ライアー、バイオリン、二胡などを演奏する友だちに一度やり方を教えてもらおうとよいでしょう。

## 弦の交換

弦がひどく錆びたり切れてしまったら新しい弦と交換します。やりかたは最初から付いている説明書(英語)のとおりです。実際にやってみると難しい作業ではありません。

あるいは弦楽器を演奏する友だちにやってもらおうとよいでしょう。

うちでもリトルミンストレルの弦の張り替えを無料で受け付けます。こちらにリトルミンストレルを送り返してください。(往復の送料はご負担ください。)